

□記者会見資料
■記者発表資料
□報道機関配布資料

平成21年11月12日

件名「松江市一斉ノーマイカーウィーク」社会実験の実施結果（速報）について

～ 宍道湖大橋北詰交差点（東行き）の渋滞が約70%減少、
市内21地点における自転車交通量が合計で約30%増加 ～

[内 容]

平成21年10月19日（月）～23日（金）の5日間に実施した松江市一斉ノーマイカーウィーク社会実験の交通状況（渋滞状況、自動車交通量、自転車交通量）についてとりまとめました（速報）。

今後、社会実験期間中のバスの乗降客数の状況や、CO2削減量など詳細な効果を集計し、報告する予定です。

[市民・事業所の参加意向状況（実施前の状況）] ※実施状況についてはとりまとめ中

- ・HPや新聞広告、TV、商工会会報誌などを通じ市民・事業所へ幅広く参加を呼びかけ。
- ・まっエコ宣言（エコ通勤）事業所への呼びかけ。
- ・特に、市内中心部の比較的規模の大きな375事業所（国・県・市含む）へは、資料の郵送／訪問などにより、重点的に参加を呼びかけ。うち、105事業所が参加表明。

[期間中の渋滞状況、自動車交通量]

- ・市内の主要交差点（主要渋滞ポイント等）で軒並み渋滞長、自動車交通量が減少。

■社会実験期間前・期間中の渋滞長（朝ピーク時（7時～9時）の最大渋滞長の比較）

○宍道湖大橋北詰交差点（東行き） 事前：3,250m → 期間中：920m（約70%減少）

○JR松江駅東交差点（南行き） 事前：1,950m → 期間中：980m（約50%減少）等

※調査日は事前：平成21年10月7日（水）、期間中：平成21年10月21日（水）

[期間中の自転車交通量]

- ・市内21地点における期間中の自転車交通量の合計は、事前と比較し約30%増加（朝ピーク時（7時～9時）の交通量、高校生以下を除く一般の方）。

※調査日は事前：平成21年10月7日（水）、期間中：平成21年10月21日（水）

問合わせ 松江市役所 政策部政策企画課総合交通政策室

担当 室長 足立 保
専門企画員 深江篤司

電話 (0852)55-5661

国土交通省松江国道事務所 担当 副所長 常松 宏
調査設計課長 加田 厚

電話 (0852)26-2131

松江市一斉ノーマイカーウィーク（社会実験） 交通実態調査結果

1. 松江市一斉ノーマイカーウィーク（社会実験）期間中5日間の傾向

- 松江市一斉ノーマイカーウィーク（社会実験）期間中の渋滞長、自動車交通量、自転車交通量などの傾向は以下のとおり。

表 1-1 松江市一斉ノーマイカーウィーク（社会実験）期間中の交通状況

項目	社会実験期間中の傾向
①渋滞長	●軒並み減少傾向 ●ただし、20日（火）は天候の関係もあり微減程度（下図参照）
②自動車交通量	●概ね減少傾向
③自転車交通量	●軒並み増加傾向
④歩行者交通量	●概ね横ばい（微増）

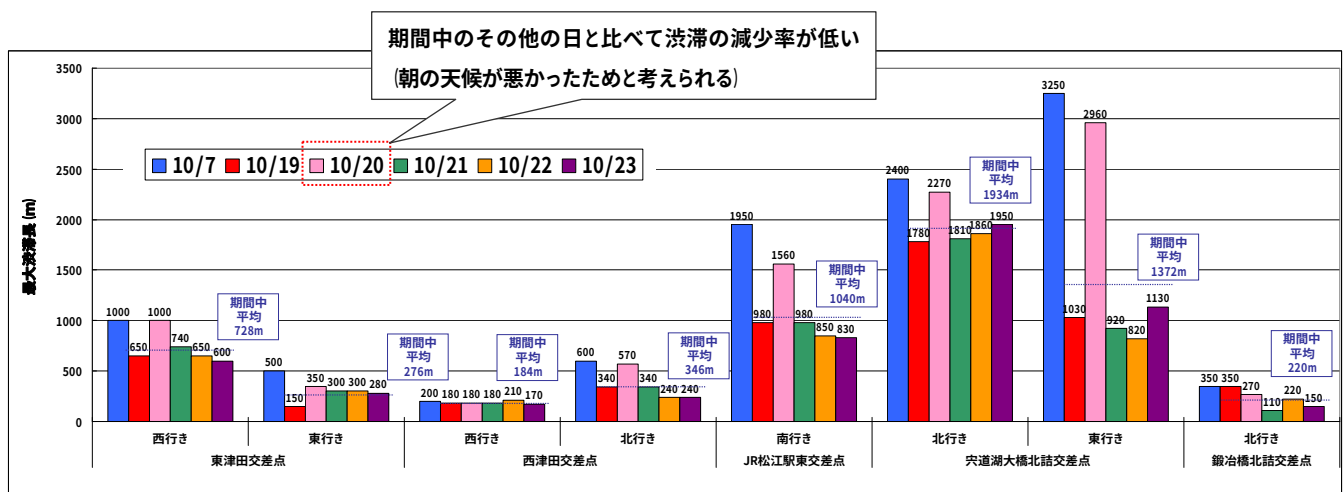
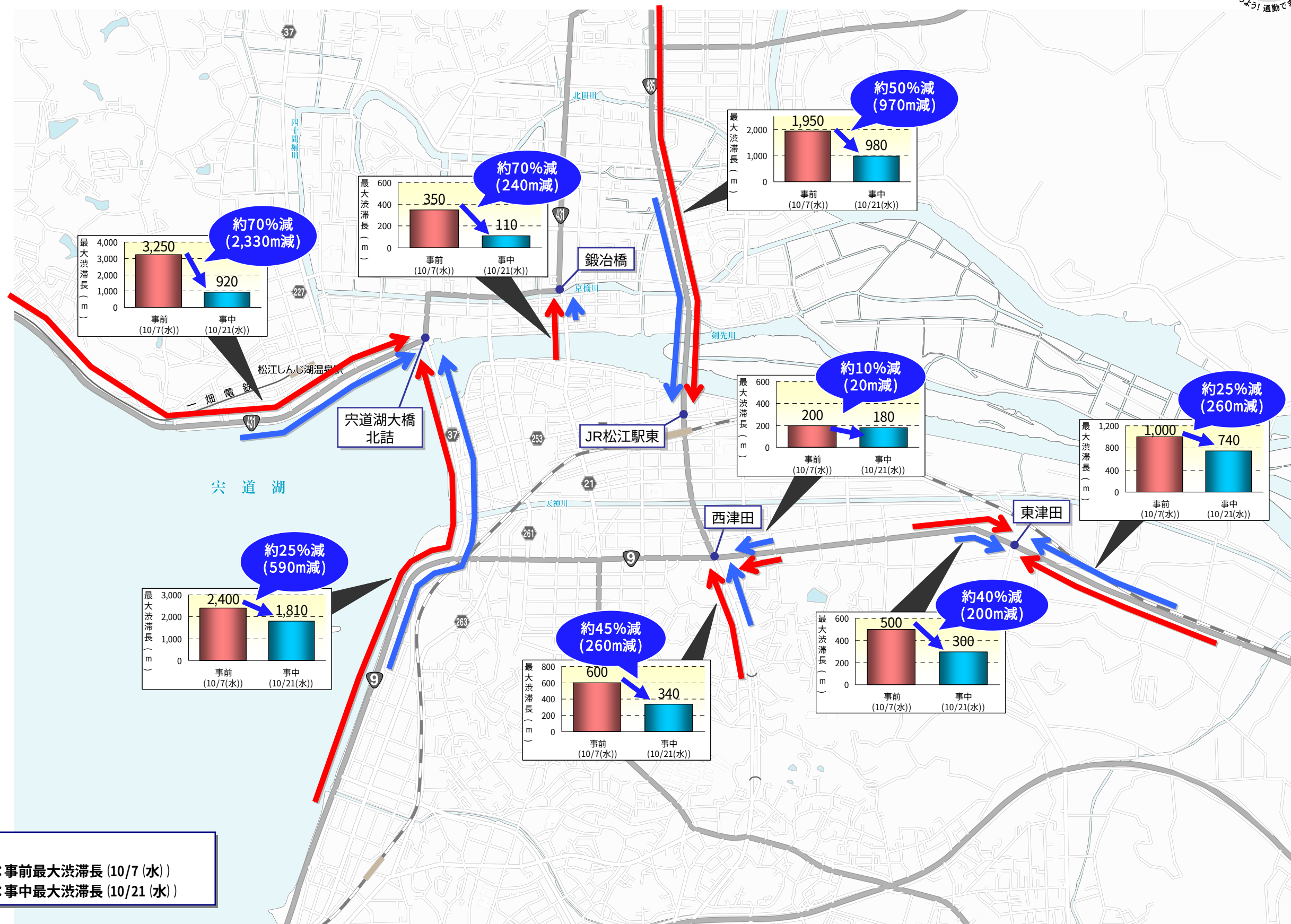
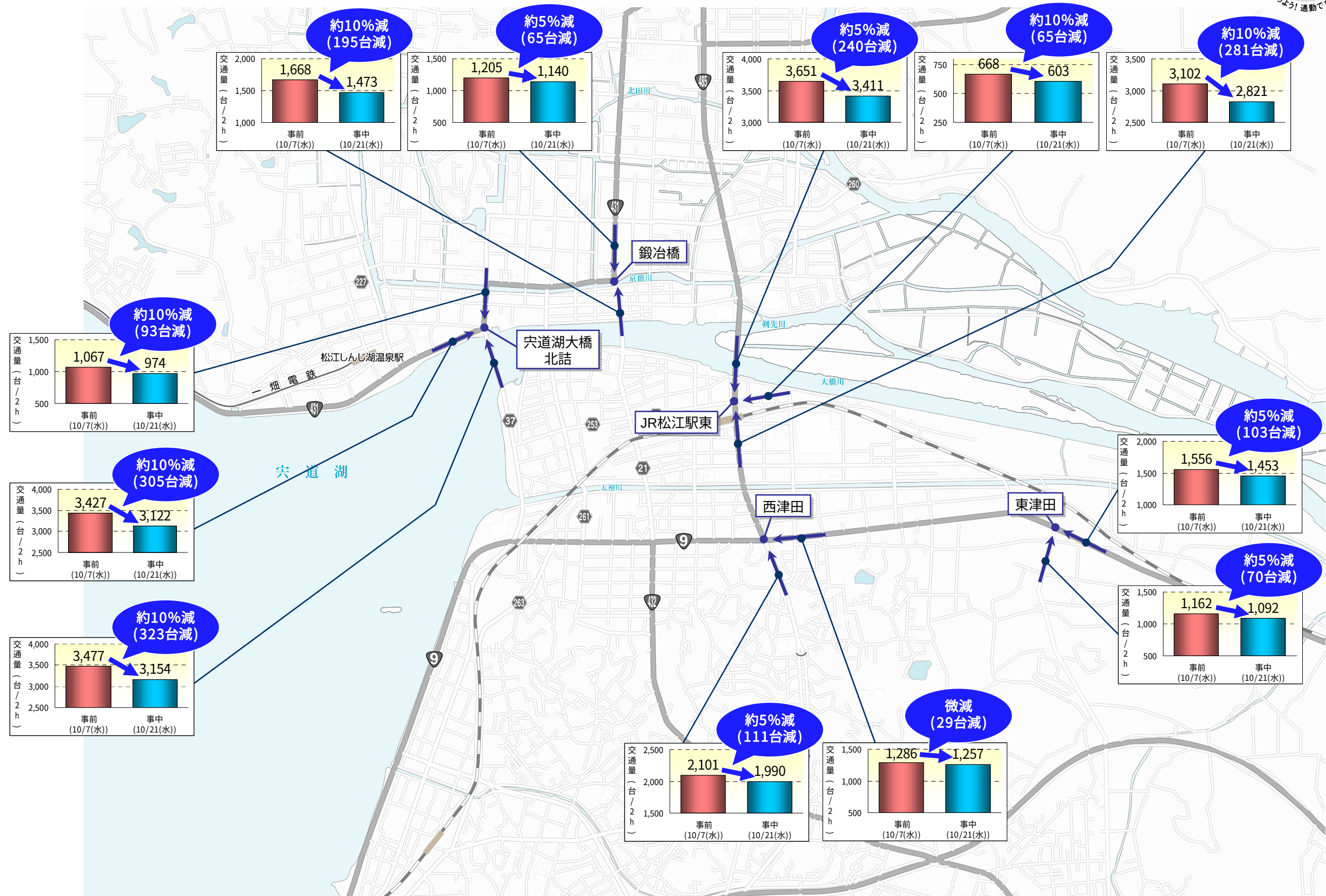


図 1-1 期間前・期間中の最大渋滞長の比較（7時～9時）

2. 期間中の交通状況

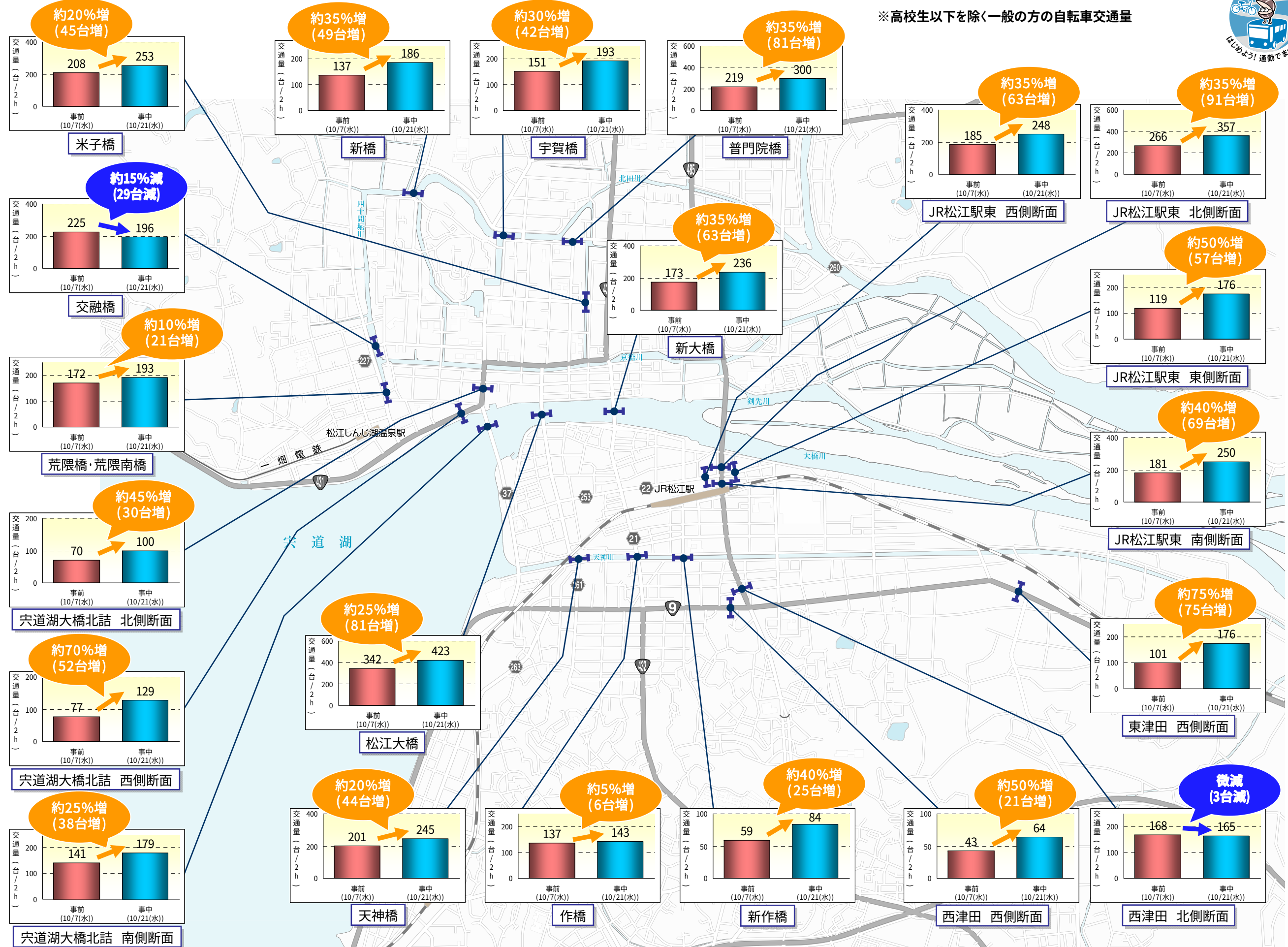
- 松江市一斉ノーマイカーウィーク（社会実験）期間中の渋滞長、自動車交通量、自転車交通量、歩行者交通量について、事前取得データ（10/7（水））と比較した結果を次頁以降に示す。
- 比較に際しては、期間中の天候の状況なども勘案し、同一曜日での比較（10/21（水））とした。また、時間帯については、通勤時間帯と考えられる7時～9時とした。





松江市一斉ノーマイカーウィーク ③自転車交通量※の比較 (朝ピーク時(7時～9時))

※高校生以下を除く一般の方の自転車交通量



松江市一斉ノーマイカーウィーク ④歩行者交通量※の比較（朝ピーク時（7時～9時））

※高校生以下を除く一般の方の歩行者交通量

